

別記様式(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称		第5回 福津市健康づくり推進協議会
開 催 日 時		令和6年3月28日(木) 午後2時00分から 午後2時40分まで
開 催 場 所		福津市健康福祉総合センターふくとぴあ 3階 らくらくルーム
委 員 名		(1)出席委員 古野 貴、中島 究、松原 秀治、坂口 尚登、松尾 和枝 野中 多恵子、宗岡 浩子、漆谷 慎一、田島 勝彦 (2)欠席委員 なし
所管部課職員職氏名		健康福祉部長 堤田 達也 高齢者サービス課長 桑野 晃明 こども家庭部子育て世代包括支援課長 羽田野 美奈 いきいき健康課長 朝長 弘美 子育て世代包括支援課保健指導係長 新堀 瞳 子育て世代包括支援課子育て世代包括支援係長 大橋 由紀 いきいき健康課健康づくり係長 石津 由起子 いきいき健康課健康づくり係 河野 佑軌 新型コロナワクチン接種対策室係長 川原 律之
会 議	議 題 (内 容)	(1)健康ふくつ21計画(第2次)中間見直し(案)について (2)令和6年度 福津市保健事業計画(案)について
	公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	なし
	資料の名称	① 健康ふくつ21計画(第2次) 中間見直し案 ② 令和6年度福津市保健事業計画(案)
会議録の作成方針		<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録 記録内容の確認方法：会長確認
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

次 第

1. 開会のことば
2. 会長挨拶
3. 議事
4. 報告 こども家庭センターについて
5. 閉会のことば

議事 (1)健康ふくつ21計画(第2次) 中間見直し(案)について

事務局 石津:(健康ふくつ21計画、第2次中間見直し案について説明)

古野会長:ありがとうございました。ただ今の内容についてなにか質問がありますでしょうか。

松尾委員:中間見直しをしていただいてありがとうございました。循環器疾患、糖尿病は、よくなっても戻れないのでとても大きなテーマだと思いました。その中で現状と課題というところを見せていただき、その中で老衰の問題、生活習慣病の入院の問題、後半二つは透析の問題が記載されています。透析というのは一人当たりの医療費が高くなるし、優先的に取り組むべき課題と思いながら聞かせていただきました。その現状と課題をみて、今後の取り組みとみたときにこの透析の問題がどのような形でここに入ってくるのか教えていただけたらと思いました。とても長い経過を経てこの結果になると思いますので、継続的な関わりが必要になってくると思いますが、透析の問題に関してはかなり濃厚なアプローチが必要になってくるのかなと思いました。今後の取り組みを少し教えてください。

事務局 朝長:透析について現状と課題のところでは分析の対象になっているのが国民健康保険被保険者、後期高齢者医療制度加入者になります。この方々のデータしか市町村としてはつかむことができていません。そして現状と課題のところでは書いている、令和3年度の国民健康保険の被保険者の透析処置がある22人全員が高血圧を基礎疾患として持っている、また、糖尿病を基礎疾患として持っている人は77.3%と高血圧に比べると少なくなります。後期高齢者のほうについても高血圧が100%で、糖尿病のほうは若干低い、79%という状況になっています。なので保健事業については今後の取り組みの「重症化予防のため、生活習慣の改善が必要な人に対して積極的に保健指導を実施する」というところになります。具体的にいうと福津市では健診の結果からⅡ度高血圧以上の人を抽出してその方々に重点的に重症化予防を展開していくということを74歳までの国民健康保険の被保険者に対して実施しています。後期高齢になる75歳以上の人には、治療率、医療機関への受診率は非常に高いのですが一定数受診中断者が発生しています。その受診中断者と言われる方々を後期高齢者医療広域連合が抽出する数字を市町村に配布してもらっていました。その糖尿病と高血圧の治療中断と思われる方々に再度きちんと治療を受けていただく、そこを後期高齢者に対しては重点的に令和6年度は取り組もうと考えているところです。今後の取り組みのところは、今後数年間このままいきますので、具体的なことは加えていませんが現時点で具体的にいうと、そのような内容を現状計画しているということになります。

松尾委員:現状と課題5つのうち2つの項目として明記してあるので、そのあたりが保健師さんたちの仕事のボリュームとして大きくなるのかなと思いましたので現状の取り組みをお尋ね

してみたいと思いました。

古野会長:透析になるまでの時間がありますので、今取り組んでいることがすぐ反映されるものではない。ただ、今取り組んでいることが数年後、10年後とかにやってくる場合があります。市の取り組みを今伺いました、そのような方針でお願いしたいと思います。

それでは委員の方から出た意見などについては反映させられるところは事務局のほうで反映させていただいて、議事1については承認いただいてもよろしいですか。
(一同承認)

議事 (2)「令和6年度福津市保健事業計画(案)について」

事務局 河野、新堀、川原:(「令和6年度福津市保健事業計画(案)について」説明)

古野会長:ただ今の内容に関して委員の方からご意見、それからもう少し詳しくという方いらっしゃいませんか。

松尾委員:新生児の聴覚検査の話のなかで、5,000円を上限にとありました。それは費用の一部であるように伺ったのですが、もし希望するかたはいくらくらい払うようになるのか、教えてください。

事務局 新堀:新生児の聴覚検査は、今は自己負担で行われている検査で医療機関によって検査費用がまちまちで、5,000~7,000円くらい前後、だいたい5,000円くらいで検査をされているところです。少し手出しが発生するんですけども、5,000円を上限に金額を設定しています。

松尾委員:新生児の何%が聴覚検査を受けていますか。そしてこの検査は以前からやられていたんですか。であればどれぐらいの人が利用してどれぐらいの人が聴覚の異常を発見されているのかを教えてください。

事務局 新堀:詳しい手持ち資料はないのですが、受診率としては90数パーセント受けていただいているところです。自己負担が発生するということで経済的な面を理由に受けられないと選択する方もいます。異常率がどのくらいかは、資料がないのでまた後日。

松尾委員:異常があった場合のフォローは保健師さんたちがするということですか。

事務局 新堀:そうです。福岡県に乳幼児聴覚支援センターがあります。福岡県医師会館に入っているセンターがありますので、そちらで支援をしていただいているのと、保健師が必ず繋ぐようフォローをしています。それから赤ちゃん訪問の時に保健師が必ず母子手帳を確認し検査をしてあるかということと正常であるか異常であるかという確認は必ず行っています。

松尾委員:新生児期と言えば1年、1歳ということですか。

事務局 新堀:この検査は、厚労省のほうが生後3日で実施することを推奨しておりまして、新

生児という文言の規定を母子保健法でいうと28日を満たないということで出生27日以内の赤ちゃんの事です。

松尾委員：母子手帳を交付の段階でみなさまに伝わらないとできないですね。

古野会長：聴覚検査は耳鼻科の先生が従前から補助をしてほしいということを望んでらっしゃった検査で、90数パーセント受診してらっしゃいますけど、あと数パーセントが何らかの原因で受けられない、それで早く補助してほしいという訴えが耳鼻科のほうからあったと思う。ほかにはなにかありますか。

野中委員：風疹の追加対策の部分はR6年度で廃止ですか。

事務局 川原：令和6年度が最終になります。国の方としては、思ったほどの受診者数ではなかったけれども、それでもある程度目的は達せたであろうということでこの事業を終了するという説明があっておりました。

古野会長：はしかのほうが増えている。はしかのワクチンをどうするかですね。風疹・麻疹のワクチンはあるので、それでいま、風疹の検査を受けられて陰性に出たとしてもワクチンがないので受けられない状況が現実問題としてあります。小児科に優先的に回そうというような国の施策がありますから、この制度を利用してこられた中年の男性とかがもし陰性だとしても接種ができないと。ただあと1年延びてますのでいま検査して陰性で令和6年度のプログラムに入っているということになっている。そのうちはしかも落ち着いてワクチンも落ち着くのではないかなと思っています。

近隣の自治体で肺炎球菌ワクチンの公費補助が増えたというのがあるのと、带状疱疹ワクチンが補助をすることは自治体によって、ということで、福津市としてはどのような経過をたどるのでしょうか。

事務局 川原：まず肺炎球菌ワクチンでございます。現在福津市民の方の負担は5,680円、全体としては8,430円のワクチン代のうち2,750円が公費負担、5,680円が市民の方の負担となっております。宗像市が今年度までは同じだったのですが、令和6年度からは宗像市民の方は4,000円、8,430円のうち4,430円は公費負担するという風になりました。それにつきましては福津市の令和6年度の予算を上げ終えたあとに宗像市から変わるという情報が入りましてこちらとしては変更というのがきかない状態で話がきたものですから、これを軌道修正ができるタイミングを逃しておりましたので申し訳ないのですが令和6年度に関しては現状据え置きとの形で。ただ、近隣の、特に同じ医師会の中で値段が変わるといのはどうなんだという話は内部でありましたし、先日行われました議会のほうで話もでておりましたのでこれにつきましては私たちの現課だけでどうこうできるものではないので、市の中で話し合い、今後検討させていただきたいと思っております。带状疱疹ワクチンも同様に宗像市が助成を始めました。不活化と生ワクチンどちらも助成を行っています。結構ワクチン代が高いものですから、助成は結構大きな金額になっていますが、福津市に関してはこれまで任意の接種のものであるということで带状疱疹自体もこういった病気があるんですよっていう啓発活動を行っていましたがワクチンについてはまだ取り組んでいない状況でありまして、宗像市が始めるということでまた検討させていただくかたちにはなるということです。

古野会長：他はよろしいですか。

それでは委員の方から出た意見や質問については、事務局で保健事業計画に反映させられるものは、反映させてもらうということで議事(2)については承認いただいてよろしいでしょうか？

(一同承認)

古野会長:これですべての議事が終了いたしました。